

事務事業名	リフレッシュセンター運営事業	所属部	吉田総合センター	所属課	市民福祉課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉	所属G	市民福祉G	課長名	山田祐子
	施策名	〈20〉健康づくりの推進	担当者名	山田祐子	電話番号	0854-74-0215
	目的・対象	市民 意図 心身ともに健康で暮らす。	予 算 科 目	0:1:1:5:0:2 項 目 中 事 業 名	(内線)	4401
	基本事業	〈057〉地域ぐるみで取り組む健康づくり	0:5:3:5:0:2 項 目 中 事 業 名	老人福祉施設管理事業		
目的・対象	市民 意図 心身の健康に向けた取組ができる。					リフレッシュセンター運営事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民	温水プールを使った健康教室等により、市民による自主的な健康づくり活動を促進する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・ケアポートよしだの温水プールを活用した、自主的に体力づくり活動に取り組む環境を、社会福祉法人よしだ福祉会に委託して市民に提供する。 ・温泉泉源施設の管理
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動) ・温水プールを利用したリフレッシュセンター運営事業による健康に対する知識の獲得と健康づくり活動の推進 ・浴槽ろ過装置の管理(R1より) ・温泉成分分析 ・給水用防錆材設置 ・温泉泉源流量計計測記録	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 指導員による運動指導を受けて水中運動を行うことができる。市民は、この運動指導をきっかけとして、この施設を利用した自主的な運動習慣を身に付ける事ができる。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 利用者数	人	3,808	1,587	1,522	2,400
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
需用費 消耗品費 297千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
管理運営委託費 143千円		県支出金	千円			
事業委託料 13,277千円		地方債	千円			
工事請負費 2,041千円		その他	千円			
		一般財源	千円	14,170	13,454	15,758
	事業費計	千円	14,170	13,454	15,758	14,221

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	水中運動の有効性は、旧吉田村で行ってきた「転倒予防事業」で確認され、「身体教育医学研究所うなん」の開設を通して雲南市全体へ波及している。
② 事業実施するうえでの課題	利用者は、近隣に類似施設が整備されたことや、合併後に利用料の見直しを行なったこと等により、H7年度をピークに、年々減少傾向である。特に令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため高齢者福祉施設であることから休館日が多く利用者が例年の半以下となった。効率的な運営に努めるよう促しているが、燃料に掛かる経費や施設の老朽化による維持修繕費の負担が大きく、大幅な削減が出来ない。
③ 課題解決に向けた改革改善等	コロナによる休館や利用控えにより減少しているが、令和2年度より法人独自のプール教室(一般向け・生き生きサロン向け)を新設して、新たな需要の掘り起こしに務めている。